

メッセージアウトライン

日付	2022年6月26日
単元	創世記・2
テーマ	罪の結果と救い
タイトル	人間と罪・2
テキスト	創世記3:7～24
参照箇所	ローマ5:12,18、16:20、エペソ2:3
暗唱聖句	ローマ3:23～24

導入	<p>食べてはいけない実を食べてしまったアダムとエバ。このことが神さまにバレない・・・はずがない！彼らはその後どうしたのでしょうか？神さまは怒っているのかな？それとも・・・？</p>
I	<p>罪を犯したアダムとエバは、神さまから隠れました (7～13節)</p> <p>A. アダムとエバは自分たちが裸だということに気がきました</p> <p>B. アダムとエバはイチジクの葉をつづりあわせて腰におおいを着けました</p> <p>C. アダムとエバは、言い訳をして「神さまごめんなさい」と言いませんでした</p>
II	<p>神さまは罰をお与えになりました (14～24節)</p> <p>A. 神さまはアダムとエバを死ぬものとされました</p> <p>B. こうして、全ての人は死ぬものとなりました(ローマ5:12～)</p> <p>C. 神さまはアダムとエバをエデンの園から追い出されました</p>
III	<p>神さまは救いの計画を備えてくださいました (15, 22節)</p> <p>A. 神さまはアダムとエバに皮の衣を与えてくださいました</p> <p>B. 動物の命を犠牲にして皮の衣は、作られました</p> <p>C. イエスさまの命を犠牲にしてわたしたちを救う計画を備えてくださったのです(15節、ローマ3:23～24)</p>
結論	<p>アダムの罪により、人間は罪をもつようになりましたが、神さまは全てのの人に救いの計画を備えてくださいました</p>
適用	<p>今日神さまにごめんなさいと言えた人の罪は完全にゆるされ、永遠の命が与えられました。これからは、自己中心(自分のワガママに従う)でなく神さま中心(神さまに従う)で生きていこう。あなたの身代わりに十字架にかかってくださったイエスさまをもう悲しませないでねっ！</p>
備考	



メッセージアウトライン

日付	2022年7月3日
単元	創世記・2
テーマ	神のあわれみ
タイトル	カインとアベル
テキスト	創世記4:1～16
参照箇所	ヘブル11:4
暗唱聖句	詩篇51:17 Or 78:38

導入	ニュースでは毎日のように悲しい殺人事件のことを聞きます。今日は世界で初めに起こった殺人事件のお話です。
I	<p>神さまは私たちの心を見られます</p> <p>A. 兄カインは畑の作物を、神さまにささげました</p> <p>B. 弟アベルは羊を、神さまにささげました</p> <p>C. 神さまはアベルの捧げ物に目を留められました</p>
II	<p>神さまは、素直な心を喜ばれます</p> <p>A. カインの心は不満と怒りでいっぱいになりました</p> <p>B. カインは自分の礼拝の姿勢が正しくなかったことを悔い改めませんでした</p> <p>C. カインは弟のアベルを殺すという大きな罪を犯してしまいました</p>
III	<p>神さまは、あわれみ深く待っておられます</p> <p>A. カインはアベルの死について知らないとうそを言いました</p> <p>B. カインは地上をさ迷い歩きすらい人とされました</p> <p>C. それでも神さまは、カインを見捨てず守ると約束されました</p>
結論	どんな罪人をも神さまは、待っておられます
適用	<p>神さまは、罪を犯す人を見捨てるのではなく、素直に罪を悔い改めるなら、喜んでゆるしてくださるお方です。イエスさまを信じているあなたは救われていますが、まだ罪を犯してしまうことがあります。毎日かならずお祈りの時間をとり、イエスさまにあなたの心を見てもらいましょう。罪が示されたら、そのとき素直な気持ちで悔い改めましょう。神さまはそのような生活をとっても喜ばれるんだよ。小さな罪を放っておくと、殺人のような大きな罪になる恐れがあるよ。</p>
備考	



メッセージアウトライン

日付	2022年7月10日
単元	創世記・2
テーマ	忠実にしたがう
タイトル	ノアの箱舟・1ーひとりの正しい人ー
テキスト	創世記6:1～7:5
参照箇所	マタイ24:37～25:23、ルカ16:10
暗唱聖句	創世記6:9

導入	正しくないと分かっていることでも、ついつい「みんなもやっ てるし、イイか」と流されてしまうことはありませんか？「正し い人」と言われたノアさんだったらどうするでしょうか？
I	<p>神さまは地上に罪が増え広がったことを悲しまれ ました</p> <p>A. 地上の人々に悪が広がり増えていきました</p> <p>B. 神さまはそれを残念に思い、地上から人を消し去ろうと言 われました</p> <p>C. 神さまは罪を嫌い、正しい裁きをなさるお方です</p>
II	<p>神さまはひとりの正しい人(ノア)に目を留められ ました</p> <p>A. ノアだけは正しく神さまとともに歩む人でした</p> <p>B. 神さまはノアに、ノアの家族を洪水から救うため、箱舟を造 りなさいと言われました</p> <p>C. 世の中全体が悪くなっても神さまはひとりの正しい人を 見落としません</p>
III	<p>ノアは神さまのことばに忠実に従う人でした</p> <p>A. 神さまは箱舟の作り方やそれに乗り込む動物のことを詳しく 指示されました</p> <p>B. ノアは全て神さまに言われたとおりにしました</p> <p>C. 神さまは、みことばに従いとおす人を喜ばれます</p>
結論	神さまは、ノアのようにみことばに忠実に従って生 きる人をよろこばれます
適用	わたしたちは、みことばに従う正しい人になりたいと思っ ていても、ついつい「みんなもやってるから・・・」と流されてし まいます。でも神さまはノアのようにひとりでも正しい人がい ることを喜ばれるのです。わたしたちも、人から笑われるよう なことでも、小さい事でも、困難なことでもみことばに従いとお そう。
備考	



メッセージアウトライン

日付	2022年7月17日
単元	創世記・2
テーマ	神の約束
タイトル	ノアの箱舟・2ー約束の虹ー
テキスト	創世記7:6～9:17
参照箇所	ヨハネ3:16
暗唱聖句	創世記9:13

導入	みんなは、大切な約束をしたとき、何か「しるし」をつくったり、記念の品物を買ったりしたことがありますか？それはどんなモノですか？神さまが私たちにしてくださった大切な約束とは何でしょう？それを忘れないためのしるしとは何でしょうか？
I	<p>神さまはとうとう洪水によってノアの家族以外の人類を滅ぼされました</p> <p>A. ノアの家族と動物たちは箱舟に乗り込みました</p> <p>B. 水は150日間増え続け、ノアの箱舟に乗っている人と動物以外、地上の生物は全て死に絶えました</p> <p>C. ノアは、ハトをとばして洪水の終わりを確認しました</p>
II	<p>神さまは、もう洪水で人類を滅ぼすことはしないと約束されました</p> <p>A. 箱舟から出たノアは、祭壇を築いていけにえをささげ、神さまを礼拝しました</p> <p>B. 神さまはノアの礼拝する心を見て、もう洪水で人類を滅ぼすことはしないと約束されました</p> <p>C. 神さまは、その契約のしるしとして虹をかけるといわれました</p>
III	<p>A.</p> <p>B.</p> <p>C.</p>
結論	神さまは、もう洪水で罪を犯す人間を滅ぼすことはしないと虹をかけて約束してくださいました
適用	今の時代も、罪がますます増え広がっていることを、神さまは悲しんでおられます。しかし神さまは、私たちが救われるように私たちの罪の身代わりとしてイエスさまを十字架にかけてくださいました。神さまの愛の約束のとおりにあなたが救われたことを感謝しよう！また、神さまはあなたの家族やお友だちも救われるように待ってくださっていることを信じよう！
備考	



(イラスト無し)



メッセージアウトライン

日付	2022年7月24日
単元	創世記・2
テーマ	神をおそれる
タイトル	バベルの塔
テキスト	創世記11:1～9
参照箇所	
暗唱聖句	1コリント10:31

導入	もし、世界にひとつのことばしかなかったら、世界中の人で話し合い協力して良いことをするでしょうか？それとも・・・？
I	<p>人間は名をあげようとしてバベルの塔を建て始めました</p> <p>A. 洪水のあと、ノアの息子セム・ハム・ヤペテから多くの子孫が増えました</p> <p>B. はじめ全地にはひとつの話しことばしかありませんでした</p> <p>C. 人間は自分たちも神さまと同じくらいすごいんだということを示そうとして、高い塔を建て始めました</p>
II	<p>神さまは、人間のことばを混乱させ、互いに通じないようにされました</p> <p>A. 神さまは、人間のおごり高ぶる思いをよろこばれませんでした</p> <p>B. 神さまは人間が2度と同じような事をしないように、ことばを混乱させました</p> <p>C. 神さまは、全世界に人々をバラバラに散らされました</p>
III	<p>A.</p> <p>B.</p> <p>C.</p>
結論	神さまは、自分たちのすごさを示そうとして塔を建てた人間のおごり高ぶる心を、よろこばれません
適用	<p>自分のすごさを誇るのではなく、神さまのすばらしさをあらわす人になろう！</p> <p>人間の能力(勉強・スポーツ・音楽など)や技術(機械やインターネット)は自分たちのすごさを表すのでなく、神さまのすばらしさをあらわすために生きるべきなのです。神さまに守られて生きていることを感謝して、神さまのすばらしさをあらわす人になろう！</p>
備考	



(イラスト無し)

